

わちエダより

題字 吉田蒼月

Vol.33

平成25年(2013年)
8月発行

特集

Feature Articles

回復期リハビリテーション病棟の取り組み
より安全で質の高いリハビリを
目指し、チームで活動を。

5つのワーキンググループが、
課題解決に向けて活動。

よくわかる! 病気のはなし
熱中症

おしえて、医療のコトバ
医療の?にお答えします
「成年後見制度」

旬菜健美
旬の食材を使ってつくる
健康レシピ「豆腐アイス」

より安全で質の高いリハビリを目指し、チームで活動を。

今年の春、八千代病院は病院機能評価認定ver.6の取得と同時に、回復期リハビリ病棟も付加機能評価リハビリテーション機能(回復期)ver.2の認定を取得しました。そこで今回の特集では、回復期リハビリ病棟にスポットを当て、リハビリやケアの質向上に向けた取り組みをご紹介します。

病院とご自宅をつなぐ、回復期リハビリ病棟

回復期リハビリテーション病棟(以下、回復期リハビリ病棟)は、平成12年度に国の制度によって新しく誕生した病棟です。急性期治療後の患者さんに集中的にリハビリを提供し、在宅療養へと移る橋渡しをするのが、その役割です。

入院対象となる疾患は、脳血管疾患や脊髄損傷、大腿骨骨折、廃用症候群などさまざま、入院までの期限と入院日数の上限が疾患別に定められています。

当院は平成17年、病院の新築移転時に回復期リハビリ病棟を開設して以来、スタッフ一丸となって機能の向上に努めてきました。昨年、条件が厳しく、県内でもわずかな病院しか認められていない「**入院料1**」の施設基準を取得し、今年は病院機能評価の付加機能評価の認定も取得するなど、質の高いケアが評価されています。

回復期リハビリ病棟の役割

急性期と在宅をつなぐ回復期リハビリテーション病棟では、目標と期間を設定し、リハビリテーションを行っています。

急性期病棟(病院)
急性疾患の診断・治療

回復期リハビリ病棟
機能障害・ADL(日常生活動作)の改善

在宅・施設
生活機能の維持・改善

PICK
UP!

リハビリの質への最高評価、「入院料1」ってナニ？

回復期リハビリ病棟入院料は、昨年改訂され、現在3段階あります。入院料1は、より充実した体制で、より医学的処置が必要な患者さんや重症の患者さんを受け入れ、状態改善や在宅復帰を十分行っている病院を評価するために新設されました。右表の厳しい施設基準を満たすことが求められます。当院では、人員の配置はもちろん、重症患者改善割合54.8%、在宅復帰率93.0%(平成24年3月～10月算定データ)を達成し、高いレベルで基準をクリアしています。

入院料1の施設基準

看護配置	13対1以上
看護補助者の配置	30対1以上
その他の職種の配置	専任医師1名以上、専任理学療法士3名以上、作業療法士2名以上、言語聴覚士1名以上、専任社会福祉士等1名以上
在宅復帰率	7割以上
新規入院患者	重症患者が3割以上 看護必要度A項目1点以上の患者が1割5分以上
重症患者の退院時日常生活機能評価	4点以上改善している患者が3割以上

入院対象となる傷病名・状態	入院までの期限	入院上限
脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血シャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後もしくは手術後の状態、義肢装着訓練を要する状態	発症または手術後 2カ月以内	150日以内
高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頸髄損傷、頭部外傷を含む多部位外傷の発症後または手術後の状態		180日以内
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節、膝関節の骨折、2肢以上の多発骨折の発症後または手術後の状態		90日以内
外科手術または肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後または発症後の状態	発症または手術後 1カ月以内	90日以内
股関節または膝関節の置換手術後の状態		60日以内
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節または膝関節の神経、筋または靱帯損傷後の状態		60日以内

多職種がチームを組んで、患者さんをサポート

回復期リハビリ病棟では、医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、医療ソーシャルワーカーなど多職種がチームを組み、患者さんお一人おひとりの状態に合わせたリハビリを行います。そのため、職種間の連携やチーム全員での情報共有を大切にしています。また、院内だけでなく、地域の介護福祉サービスとも連携。病院からご自宅や地域の施設へとスムーズに移行

できるよう患者さんを支援しています。

また、365日リハビリテーションを実施。早期回復に向け、休むことなくリハビリができるよう体制を整えています。



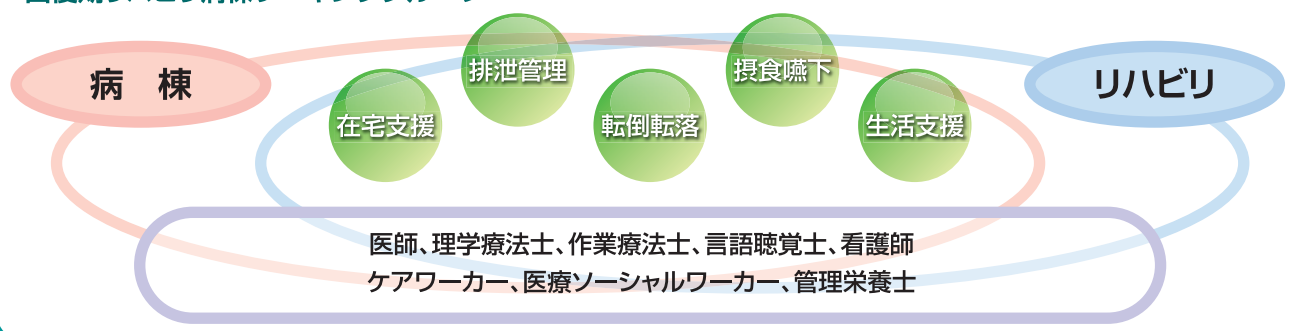
回復期リハビリ病棟のチームアプローチ

前述の通り多職種がチームで患者さんを支援する回復期リハビリ病棟では、職種間の連携がより良いケアのカギとなります。そこで、当院では病棟開設当初より、職種横断的なワーキンググループ（以下、WG）を編成。WGが病棟全体の活動を牽引する形で、リハビリやケアの質向上を目指す取り組みを続けています。

WGは現在、「在宅支援」「排泄管理」「転倒転落」

「^{えんげ}摂食嚥下」「生活支援」の5つ。医療の質と安全性、患者さんの生活の質を高めるために重要度の高い5つの問題を取り上げ、各グループが目標を設定して、問題の改善に取り組んでいます。リハビリの状況や病棟での生活など、各専門職が互いの情報を共有し、それぞれの専門性を生かしながら協働することで、効果的なケアにつながっています。

回復期リハビリ病棟ワーキンググループ



在宅支援

事例1

回復期リハビリ病棟の患者さんは、疾患やケガの状態によっては、何らかの障害を抱えながら自宅・社会復帰の日を迎えます。本人やご家族の不安は大きく、入院生活と在宅生活との隔たりを少なくし、スムーズに在宅生活に移行できるよう、病棟では退院前に自宅訪問、在宅カンファレンス、介護指導などを行っています。WGでは多職種が専門性を発揮して、患者さんが安心して家に帰るための退院支援システムづくりを行っています。

排泄管理

排泄ケアは人の尊厳にかかわり、排泄問題への取り組みは非常に重要です。排泄機能に障害があると、患者さんやご家族の負担は大きく、入院時に「トイレにいけるようになりたい」と希望する患者さんは少なくありません。ご家族からも、自宅退院の条件として「排泄の自立」を求められることがあります。排泄管理WGでは、多職種で排泄の自立・介助量軽減に向けた支援を行っています。



摂食嚥下

入院生活において食事は治療の一環であり、摂食・嚥下障害は治療の妨げとなります。また、嚥下障害は誤嚥性肺炎の発症、入院期間の延長などにつながる重要な問題です。WGでは、嚥下の専門家である言語聴覚士らが中心となり、摂食・嚥下に問題のある患者さんを早期発見・治療につなげるシステムづくりを行っています。また、病棟スタッフへの知識や技術の教育、患者さんの適切な体重・栄養管理なども行っています。



転倒転落

事例2

回復期リハビリ病棟では、日常生活の活動能力の向上と、自宅復帰を目的としたリハビリを集中的に行っています。そのため、ベッド以外の場所でリハビリを行い、活動性も高くなることから、転倒事故が発生しやすいという特徴があります。転倒転落からケガをし、寝たきりになったり、リハビリの期間が長引くこともあるため、WGでは多職種が連携して、転倒転落防止に努めています。

5つの ワーキンググループが、 課題解決に向けて活動。

回復期リハビリ病棟が重視する5つの課題とともに、課題解決に向けたWGの取り組みをピックアップしてご紹介します。



生活支援

回復期リハビリ病棟では、リハビリ以外の時間は病室から動かない患者さんも多く、身体機能を回復し、生活のリズムをつくるために、患者さんが積極的に活動できる方法が求められていました。そこでWGでは、患者さんの離床を促す方策として、園芸療法を実施。園芸療法により生活のリズムを取り戻すと同時に、心身のリフレッシュ効果も期待できます。さらに退院後の趣味としても継続できるように支援しています。



WGの活動事例

事例1. | 在宅支援

課題

病院ではできたのに自宅ではできない、という問題を防ぐには、退院前の自宅訪問で生活の情報を収集し、病棟での訓練や入院生活に反映させ、調整することが重要です。しかし従来の自宅訪問は主に理学療法士などが行っており、看護師・介護士の関わりが少なかったため、日常生活の情報が不足していました。

取り組み

自宅訪問の際に看護師・介護士の視点でチェックを行う「自宅訪問支援表」をWGで新たに作成し、看護師や介護士の自宅訪問参加を推進しました。



理学療法士 看護師 改修業者
医療ソーシャルワーカー ケアマネジャー

成果

「自宅訪問支援表」の活用により、洗面や食事環境など自宅での具体的な生活状況を確認できるようになりました。その情報を入院生活に反映させ、退院後の生活を想定してリハビリ目標や入院環境を再設定しています。ご家族にもよりきめ細やかな介護指導を行うことができるようになり、入院生活と在宅生活の隔たりを埋めるのに役立っています。

事例2. | 転倒転落

課題

リハビリの時間には患者さん自身でできているのに、病棟では看護師二人で介助をする過介助の状態になるなど、職種間での情報共有ができていないため、提供するケアが統一されていない例がありました。

取り組み

患者さんの能力向上と転倒転落リスクの低減を両立させるには、リハビリと病棟でのケアのレベルを合わせることが必要です。そこでWGでは、スタッフ間の連携を強化し情報共有を進めるために、患者さんの能力に合わせた介助方法とベッド回りの環境設定を記した「環境設定表」を考案。ベッドボードに設置しました。



成果

患者さんの回復状況や介助の必要度、注意点を見える化することで、誰が介助に入っても同じ方法・レベルを保つことが可能になり、過介助を防ぐ一方、転倒転落リスクの低減にもつながっています。また、環境設定表をはじめ、転倒転落防止のさまざまな取り組みにより、再転倒の割合も減少しました。

Doctor's Voice

多職種によるチームワークが、確かな成果につながっています。

リハビリテーション科部長(回復期リハビリ病棟専任医) 矢崎 進 医師

回復期リハビリ病棟は昨年、入院料1の施設基準を、今年、付加機能評価の認定を取得しました。入院料1のポイントは、リハビリに対して成果が求められるようになった点です。より早期に重症な患者さんを受け入れ、状態を改善できたかどうか評価され、在宅復帰率の向上が大きな目標となっています。そこで、回復期リハビリ病棟では、院内の他病棟や地域の病院との連携を強化し、重症患者さんの情報を共有することで、よりスムーズな受け入れを可能としました。また、機能評価認定を受けるにあたり、自分たちの課題を発見し、全員で努力して改善していくことで、病棟全体のレベルが上がってきたと感じています。

こうした改善活動を中心となって進めているのが、ワーキンググループです。患者さんの目につくことのない地道な取り組みですが、多職種のスタッフがチームを組んで活動し、着実に成果を上げています。もちろん、まだまだ課題は多く、今後は、買い物や公共交通機関での移動といった院外でのリハビリや、退院後の訪問リハビリに病棟のスタッフが同行し、患者さんの在宅での状態を確認するなど、リハビリの視野を外に向かって広げていく活動の充実が必要です。患者さんにご家族のご要望を受け止め、安心して自宅に復帰していただけるよう、これからも回復期リハビリ病棟ならではのチームワークを発揮していきます。

第7回

熱中症

このコーナーでは、いま気になる症状・病気の基礎知識から最新の治療法まで、旬の医療情報をわかりやすくお伝えしていきます。

猛暑が続く夏。連日、耳にするのが熱中症による救急搬送のニュースです。消防庁の発表によると、平成24年7月～9月の全国における熱中症による救急搬送人員は43,864人。そのうち65歳以上の高齢者が約45%で最も多く、18歳未満の少年と乳幼児も合わせて約15%を占めています。ときに死に至ることもある熱中症ですが、普段の生活の中で予防でき、適切な応急処置をすれば救命することもできます。そこで今号では、熱中症の予防と万一のときの対処法についてご紹介します。

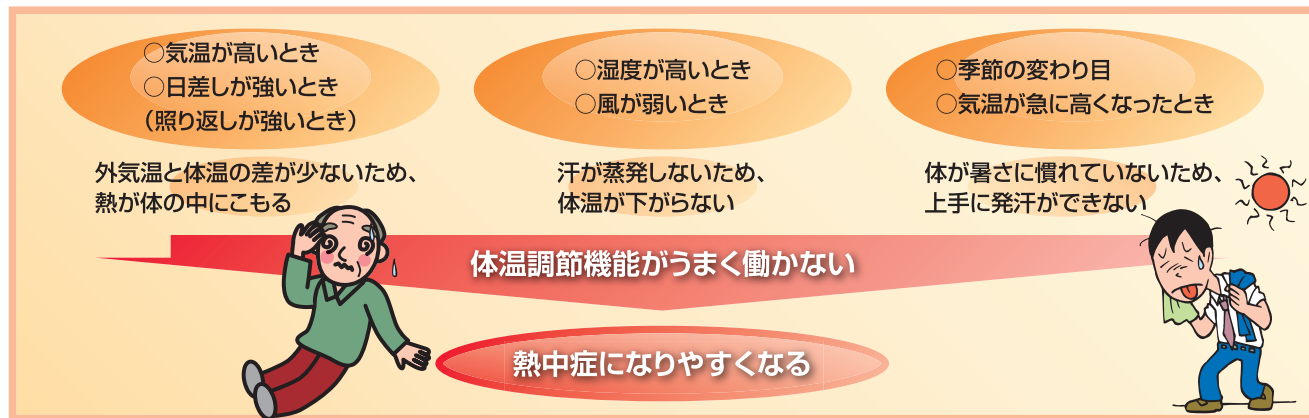
基礎知識編

●屋外でも、家の中でも注意が必要な熱中症

熱中症は、気温や室温が高い中で、体内の水分や塩分(ナトリウムなど)のバランスが崩れたり、体温の調整機能が働かなくなったりして、さまざまな症状を引き起こす病気です。体温上昇やめまいといった症状が現れ、重症になると死に至ることもあります。また、屋外で活動しているときだけでなく、家の中にいても室温や湿度が高いため、家事や就寝中などに熱中症になる場合があります。暑くてもエアコンを我慢するなど、無理な節電にはくれぐれも注意が必要です。

●どんなときに熱中症になりやすいの?

熱中症を引き起こす可能性が高いのは、気温が高いとき、湿度が高いとき、風が弱いとき、日差しが強いときです。最高気温が30度を超えると熱中症で死亡する人の数が増え始めます。ただ、気温が低くても、湿度が高いと汗が蒸発しにくくなり、熱中症の危険が高まります。風が弱い日も同様で、熱が体にこもりやすくなるのが、熱中症の原因となります。また、日差しが強いときは地面からの照り返しも強く、大人より地面に近い位置にいる子どもに特に注意が必要です。

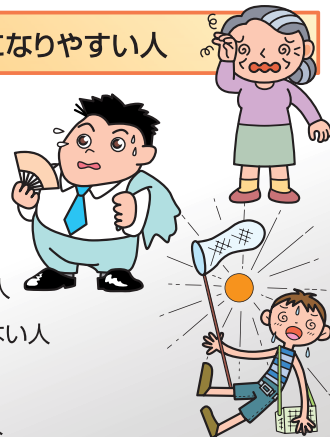


●熱中症はどんな人になりやすいの?

特に熱中症になりやすいのは、子どもと高齢者です。子どもの場合は体温調節機能が未熟なため、高齢者の場合は感覚機能や体温調節機能が弱っているためで、ご家族や周りの人が配慮してあげることが必要です。また、心臓疾患、糖尿病、精神神経疾患、広範囲の皮膚疾患などにかかっている人も、体温調節がうまくできない状態なので注意しましょう。一方で、熱中症は体力や年齢に関係なく起きる危険性もあり、体力に自信がある人、若い人であっても油断はできません。

熱中症になりやすい人

- 脱水状態にある人
- 高齢者
- 子ども
- 肥満の人
- 過度の衣服を着ている人
- 普段から運動をしていない人
- 暑さに慣れていない人
- 病気の人、体調の悪い人



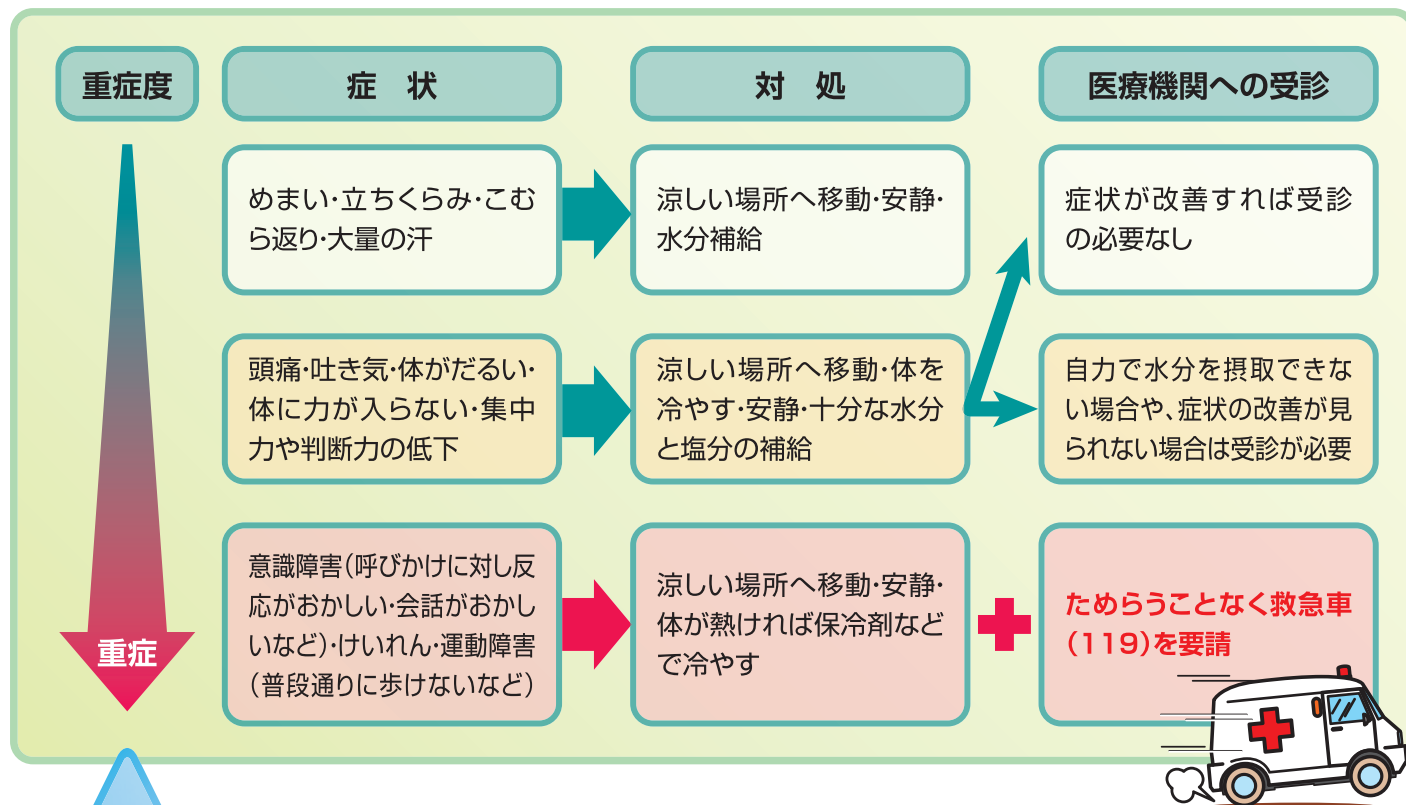
対 処 編

●熱中症の疑いがあるときは!

熱中症の疑いがある人がいたら、周囲がすぐに対処することが大切です。重症の場合は救急車を呼ぶとともに、救急車が到着する前から、現場でいち早く体を冷やしましょう。

また、熱中症の疑いのある人を医療機関に搬送する

には、医療機関到着時に検査と治療が迅速に行われるよう、その場に居あわせた最も状況のよくわかる人が医療機関まで付き添って発症時の状態などを伝えるようにしましょう。

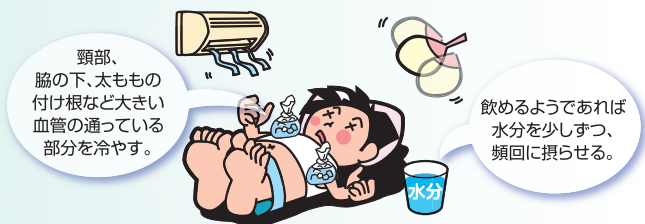


応急手当の ポイント

重症者の命を救えるかどうかは、いかに早く体温を下げるができるかにかかっています。現場ですぐに対処できるようポイントをまとめました。

体を冷やす

- 涼しい場所へ移動し、衣服を脱がせ、体から熱を逃す。
- 肌に水をかけて、エアコン、うちわや扇風機などの風をあて冷やす。
- 保冷剤などを首や脇の下、大腿の付け根などにあてて冷やす。



要注意

- 意識障害のある人に口から水分を補給すると、誤って気道に水が入る恐れがあります。また、吐いたり、吐き気がある人も、胃腸の動きが鈍っているため、これらの人には水を飲ませないでください。
- ここに記した内容はあくまでも「応急手当」です。手当しても症状が改善しない場合は、医療機関を受診しましょう。

水分・塩分の補給(自力で飲めるとき)

- 冷たい飲み物を飲ませて、胃の表面で熱を奪う。
- 大量に汗をかいている場合は、経口補水液やスポーツドリンクを飲ませる。食塩水(1リットルに1～2gの食塩)も有効。

熱中症は予防できます。さっそく始めましょう。

- 部屋の温度をこまめにチェック! 普段過ごす部屋には温度計を。
- 室温28℃を超えないように、エアコンや扇風機を上手に使う。
- のどが渇いたと感じたら必ず水分補給をする。*
- のどが渇いていなくてもこまめに水分補給をする。
- 外出の際は体を締めつけない涼しい服装で、日よけ対策も。
- 無理をせず、適度に休憩をとる。
- 日頃から栄養バランスの良い食事と体力づくりをする。

※糖尿病の人は、高血糖になるのを防ぐため、糖分の少ない飲料を選んで摂取するように注意しましょう。



TOPICS 1

病院機能評価(バージョン6.0)の認定を更新

八千代病院は5月17日付で、財団法人日本医療機能評価機構より病院機能評価(Ver.6.0)の更新認定を、2月1日付で同 付加機能評価 リハビリテーション機能回復期(Ver.2.0)の認定を受けました。

当院は、患者さんにより質の高い満足度の高い医療

を提供するために、職員一丸となって医療機能の向上に取り組んでいます。こうした日頃の取り組みの成果を客観的に把握し、さらなる改善につなげていくことを目的に、病院機能評価を受審しています。

病院機能評価とは?

病院機能評価は、病院が組織的に医療を提供するための基本的な活動(機能)が、適切に実施されているかどうかを評価する仕組みです。(財)日本医療機能評価機構が設定した評価基準に基づき、同機構が中立的・客観的な立場で、医療機関の活動を实地調査や書面審査を通じて総合的に評価。評価項目が認定基準に達していると判断された場合に「病院機能評価認定証」が発行されます。

なお、病院機能評価の認定有効期限は5年間で、5年後には更新の審査を受けることとなります。



TOPICS 2

増築・増床工事地鎮祭を行い、工事の無事を祈念

5月29日、救急医療対応病床等増築・増床工事の地鎮祭を執り行いました。

式典は、松浦満康安城市議会議長、地元町内会役員(今本・東栄・今池・住吉町)ら来賓を迎え、当院幹部職員と施工者である熊谷組関係者が出席して行われました。

席上、当院松本理事長は「次の時代に備えるということで設備的にも人的にも体制を強化し、スタッフ一同最大限の努力をしていきたいと思います。そして、院内の体制を固めるだけでなく、地元診療所の先生方や他の病院、介護福祉施設、行政、地域の皆さんとの連携をますます



あいさつを行う松本理事長

強くし、この先も地域の方々が困りになることがないように、地域医療をしっかりと支えていく所存です。どうか地域の皆様方にはご理解、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます」と、増築への決意を述べました。

次号より、平成26年オープン予定の新病棟のさまざまな話題を、連載でお届けします。

どうぞご期待ください。





せいねんこうけんせい ど

「成年後見制度」って、どんな制度？

成年後見制度とは、認知症、知的障害、精神障害などの理由で判断能力が不十分な方が不利益を被らないよう、法律的に支援するために設けられた制度です。

たとえば、判断能力が十分でない場合、不動産や預貯金などの財産を管理したり、福祉サービスに関する契約を結んだり、遺産分割の協議をしたりする必要があるとしても、自分でこれを行うのが難しいことがあります。また、自分に不利益な契約であってもよく判断ができずに契約を結んでしまい、悪徳商法の被害にあう恐れもあります。

こうした問題を防ぐために、成年後見制度では本人の権利を守る援助者(成年後見人等)を選任し、法律的な支援を行います。

成年後見制度の種類と利用法

成年後見制度には大きく分けて「任意後見制度」と「法定後見制度」の2種類があります。

任意後見制度

将来、判断能力が不十分になったときに備えて、誰に、どのような援助をしてもらうかをあらかじめ契約により決めておく制度。

〈利用するには〉

公証役場で任意後見契約を結ぶ必要があります。詳細については、お近くの公証役場にお問い合わせください。

法定後見制度

すでに判断能力が不十分な場合に、本人や家族、市町村長などの申し立てを受けて家庭裁判所が後見人を選出する制度。

〈利用するには〉

本人の居住地の家庭裁判所に審判等を申し立てる必要があります。詳細については、家庭裁判所にお問い合わせください。

「成年後見制度」について何かご不明なことがあれば、医療福祉相談室にご相談ください。

さまざまな医療の？にお答えします。 話・八千代病院 医療福祉相談室

おしえて、医療のコトバ

今号の食材

「豆腐」

TOFU



江戸の庶民に親しまれ、大ベストセラーとなった料理本『豆腐百珍』。そこには100種類もの豆腐料理が次の6つの分類で紹介されています。家庭でよく料理される「尋常品」、一般に販売されている「通品」、風味に優れ見た目もきれいな「佳品」、一風変わり意表をつく「奇品」、奇品に優り形・味ともに備わった「妙品」、さらに妙品をしのぎ豆腐の持ち味を生かした「絶品」。この分類でいえば、今回ご紹介する豆腐アイスは、さしずめ絶品!? その味を、ぜひご賞味ください。

現代の豆腐百珍 絶品!? 豆腐アイス

■材料(1人分)

絹ごし豆腐	100g	牛乳	大さじ2強
メープルシロップ		すりごま	小さじ2
または はちみつ	大さじ1	きな粉	小さじ1
練り白ごま	小さじ2		

SHUN・SAI・KEN・BI



*エネルギー 166kcal(1人分)

■つくり方

- ①材料をすべてボウルに入れ、混ぜ合わせる。
※絹ごし豆腐を裏ごししておく、なめらかに仕上がります。
- ②器に入れ、1時間ほど冷蔵庫で冷やし固める。

カロリーが気になる方に! カロリーダウンのコツ

- メープルシロップを①で混ぜ合わせずに、食べるときに少量のみかけるようにしましょう。
- 牛乳をスキムミルクにすると、カロリーダウンできます。

旬 菜
健 美

旬の食材を使ってつくる健康レシピ。
おいしく食べて健康美人に。
レシピ考案・八千代病院 栄養科

専門外来・各種教室のご案内

専門外来

教室

その他

物忘れ外来

予約制

神経内科医が認知症の診断と治療を行います。適切な治療や対処を早期に行うために、不安のある方は放置せず、ご相談ください。

- 対象 象／物忘れ、認知症が心配な方
- 診療日時／月曜日・第2,4,5土曜日の午前中
- 担当医師／川畑信也(神経内科部長)
- お問い合わせ／総合受付

うつ病外来

予約制

55歳以上の方を対象に、神経内科医がうつ病の診断と治療を行います。また認知症の初期にはうつ病とよく似た症状がみられるため、うつ病と認知症の鑑別も行います。

- 対象 象／55歳以上の方
- 診療日時／火曜日・金曜日
- 担当医師／川畑信也(神経内科部長)
- お問い合わせ／総合受付

禁煙外来

予約制

医師が禁煙の実行・継続に向けてのアドバイスや禁煙補助薬の処方を行い、あなたの禁煙をサポートします。一定の条件を満たしている方には保険が適応されます。

- 対象 象／タバコを止めたい方、治療上禁煙が必要な方
- 診療日時／第2,4水曜日 13:30～
- 担当医師／清水康男(呼吸器内科部長)
- お問い合わせ／総合健診センター ☎0566-98-3367(直)

ストーマ外来

予約制

ストーマ造設の手術を受けられた患者さんとご家族がより快適に日常生活を送れるよう、皮膚・排泄ケア認定看護師がお一人おひとりに合ったケアをとともに考え、お手伝いします。

- 対象 象／ストーマを造設した方、そのご家族
- 診療日時／木曜日 9:30～15:30
- 担当スタッフ／皮膚・排泄ケア認定看護師
- お問い合わせ／総合受付 または 外科外来

フットケア外来

予約制

糖尿病による足のトラブルを早期発見し、悪化させないために、糖尿病療養指導士の資格を持つ看護師がケアや指導を行います。

- 対象 象／主に当院で糖尿病治療中の方、その他足のトラブルでお悩みの方
※受診には医師の指示が必要です。
- 診療日時／月曜日・水曜日・金曜日 9:00～15:00
- 担当スタッフ／糖尿病療養指導士など指定の研修を受けた看護師
- お問い合わせ／総合受付

ピロリ菌外来

予約制

ピロリ菌外来では、胃がんや消化器疾患の発生・再発予防、胃の炎症の抑制などを目的に、ピロリ菌の検査と除菌治療を行います。

- 対象 象／1.ピロリ菌感染の有無を調べたい方
2.胃がん予防のためピロリ菌の除菌を希望される方
※鉄欠乏性貧血、慢性じんましんなど除菌により病態が改善される可能性のある方のご相談にも応じます。
- 対象 外／以下の疾患と診断された方、現在治療中、もしくは治療経験のある方は保険が適応されますので、消化器内科の外来を受診してください。
2013年2月21日に除菌治療の保険適応が拡大され、ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎(内視鏡診断要)が追加されました。
胃潰瘍または十二指腸潰瘍／胃MALTリンパ腫／特発性血小板減少症／内視鏡治療を受けた早期胃がん／ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎(内視鏡診断要)
- 診療日時／第1,3,5水曜日 14:00～15:00
- 担当医師／林 繁和(総合健診センター長)
- お問い合わせ／総合健診センター ☎0566-98-3367(直)

助産師外来

予約制

経験豊かな助産師が、妊産婦さんの継続的な支援を行っています。妊娠中のバースプランの相談、保健指導から産後の授乳指導、育児相談まで、お気軽にご相談ください。

- 対象 象／当院で出産をされる方
・妊娠20週頃の妊婦 ・産後2週頃の褥婦
- 診療日時／(妊婦)月曜日・木曜日 13:00～16:30
(褥婦)月曜日・木曜日 9:00～12:00
- 担当スタッフ／助産師
- お問い合わせ／産婦人科外来

ヘリコバクター・ピロリの
電子顕微鏡像



安産教室(前期・後期)

予約制

立ち会い希望の方は、
ぜひご夫婦一緒に
ご参加ください。



母乳に興味のある人、
母乳育児希望の人は、
ぜひ、来てください。

当院で出産される方を対象に、助産師・栄養士による安産教室を開催しています。
妊婦の方だけでなく、ご家族の参加も可能。参加費用は無料です。

前期

- 対象 象／妊娠20週頃
- 診療日時／第4火曜日 10:00～12:00
- 内容 容／●妊娠中の注意点 ●妊娠中の栄養
●お友達づくり
- お問い合わせ／産婦人科外来

後期

- 対象 象／妊娠30週頃
- 診療日時／第4土曜日 10:00～12:00、13:30～15:30
- 内容 容／●分娩/入院生活について ●妊娠後期から産後の栄養
●母乳について ●院内案内
- お問い合わせ／産婦人科外来

糖尿病教室

定員制

糖尿病患者さんご家族に向けて、医師や糖尿病療養指導士などが講師となり、糖尿病教室を開催しています。教室に参加して糖尿病についての知識を楽しく学び、生活習慣や食事の改善につなげていきたいと思います。

- 対象 象／糖尿病の方、ご家族
- 定員 員／30名程度(先着順)
- 申込締切／開催日の3日前
- 費用 用／無料
- 申込・お問い合わせ／内科外来 月曜日～金曜日 8:30～12:00

※開催スケジュールは、内科外来または
ホームページ(当院について→公開講座・教室のご案内)でご確認ください。

糖尿病友の会「生きものイキイキ会」

会員制

患者さん自身が企画・運営するという方針のもと設立されたオープン型の患者会で、患者さん同士が糖尿病の知識を学び合うのと同時に、ご自身のライフデザイン(人生設計)を考える場として活動を行っています。

- 対象 象／糖尿病の方
- 年会費 費／3,500円
- 申込・お問い合わせ／栄養科 月曜日～金曜日 13:00～17:00

※この会は当院に所属するものではありませんが、当院では糖尿病治療・療養指導チーム「MCT-YACHIYO」が中心となって、会の活動をサポートしています。

出前健康教室

予約制

医療の専門知識・技術をもつ当院のスタッフが、企業や学校などにうかがい、講義や健康相談を行います。目的やご要望に応じて内容をアレンジしますので、皆様の健康づくりにぜひ、ご活用ください。

- 対象 象／安城市の企業や学校、自治会など
- 内容 容／講義の例
●胃の病気とピロリ菌 ●生活習慣病の予防
●腰痛の予防 ●薬剤のはなし
●女性の健康 ●育児/介護の方法
- 時間 間／講義と実技や相談をあわせて1時間程度
- 費用 用／無料
- お問い合わせ／総合健診センター ☎0566-98-3367(直)
月曜日～金曜日 13:00～16:00



育児サークル「やちぴよ」

予約不要

親子の絆を深めながら、ママさん同士の交流も図れる育児サークルです。人形劇、キッズビクスなど親子で楽しめるメニューから、小児科医による乳幼児疾患についての講義まで、バラエティに富んだ内容となっています。

- 対象 象／当院で出産した乳児・幼児(未入園児)と母親・ご家族
- 費用 用／1回100円
- お問い合わせ／産婦人科外来

※開催スケジュールは、産婦人科外来または
ホームページ(当院について→公開講座・教室のご案内)でご確認ください。



新任医師紹介

NEW FACES

当院に新たに着任した医師をご紹介します。



内科
後藤 純規(ごとう じゅんき)
平成25年4月1日着任

4月1日より内科に勤務させていただいております。日々新たな気持ちでより良き医療人を目指し努力してゆく所存です。よろしくお願い申し上げます。

所属学会：

日本内科学会、日本循環器学会、日本リウマチ学会、
日本リハビリテーション医学会、日本甲状腺学会

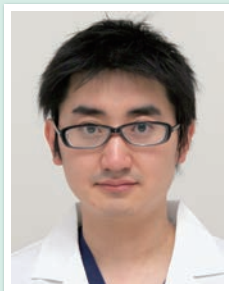


消化器内科
氏原 正樹(うじはら まさき)
平成25年7月1日着任

名古屋大学より赴任してきました氏原正樹と申します。これまでに培ってきました知識や技術、経験を患者さんのために生かしていきたいと思っております。精一杯頑張りますので、よろしくお願いいたします。

所属学会：

日本内科学会、日本消化器病学会、日本消化器内視鏡学会、
日本肝臓学会、日本緩和医療学会



外科
山崎 公稔(やまざき きみとし)
平成25年7月1日着任

この7月より八千代病院で勤めさせていただくこととなりました。研修医時代から5年3カ月、名古屋掖済会病院で勤務し、築いてきたものが、少

しでも皆様の力になればと考えております。新たな環境で、より質の高い医療を目指して、日々精進していきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

所属学会：

日本外科学会、日本消化器外科学会、
日本臨床外科学会、日本腹部救急医学会

地域医療の未来を共に創る仲間を募集

八千代病院は、平成26年度の増床および診療機能強化に向け、新たなスタッフを募集します。

チーム医療の一員として、地域医療の未来へ共に一歩を踏み出してみませんか？

募集

看護師・助産師・保健師・薬剤師
臨床検査技師

お問い合わせ先
TEL.0566-97-8111(代)
人事担当まで



八千代病院 ホームページ www.yachiyo-hosp.or.jp

当院の診療科・専門医療センターのご紹介、各科からのお知らせなど最新情報を掲載しています。また本誌『やちよだより』のバックナンバーも掲載していますので、ぜひご覧ください。



病院理念／ 最善の医療を提供する

基本方針／ 1) 患者本位の医療
2) 地域中心の医療
3) 安全先進の医療

目 標／ 私たちは、クオリティホスピタルを目指します。
※クオリティホスピタルとは、志の高い病院・質の高い病院・満足度の高い病院です。

モットー／ 親切 親和 信念

編集後記

熱中症救急搬送数の約半数を占める高齢者。日本救急医学会の調査によると、熱中症で重症化した高齢者のうち5割がエアコンを持っておらず、4割が持っても使用していなかったそうです。8月中旬以降も残暑厳しく、9月にかけてまだまだ気温の高い日が続く見込みです。本誌を参考に、熱中症の予防を心がけてください。(編集部)